

一般社団法人 Lily of the valley 2022年度事業計画

目的

本法人の設立の目的は、メンタルヘルスにおけるリカバリー及びウェルビーイングに寄与することである。第一に精神疾患に罹患した人々に対するメンタルヘルスのリカバリーの促進、および一般市民のメンタルヘルスの向上に貢献するために、リカバリーカレッジを実践し、普及に努めるものである。第二にリカバリー志向の障害福祉サービス事業及び地域生活支援事を行うものである。第三に、精神保健医療福祉領域の専門職に対して、リカバリー志向の研修を開催することで、支援の質の向上を図ることを目的とする。

事業

- I リカバリーカレッジ事業
- II メンタルヘルスにおける研修
- III 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業及び地域生活支援事業
- IV その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

本年度の方針

方針1 リカバリーカレッジの充実

リカバリーカレッジは、精神疾患を持っている方の経験知と専門職が有する専門知を融合してリカバリーを促進する独自の講座を開講するものである。そのためにはコプロダクションで多様な声を反映させて講座を考案し実践していく。また、講座に対する受講生や関係者へのアンケート調査等のフィードバックの機会を設けて質の向上を図る。また、質の向上のための助成金等を申請し財源の確保に努める。

方針2 リカバリーカレッジの啓発

精神保健福祉医療領域では学会で取り上げられる等、専門職には認知度が高まってきている。しかし、精神疾患を罹患した人々及びその家族、あるいはメンタルヘルスの課題に関心を持つ一般市民についてはいまだ認知されていない。受講対象となる人々への認知度を高めるため、広報活動を行う。さらにスタッフ、ボランティアを募集し活動の参加機会を設ける。

方針3 リカバリー志向プログラムの普及

リカバリーのために必要なスキルのひとつとして、健康自己管理能力が挙げられる。しかしながら、我が国の精神保健福祉医療分野では治療や支援が中心であり、こうした本人の健康自己管理能力を高めるためのプログラムの実施がなされていないのが現状である。そこで、本法人では専門職を対象にリカバリー志向のプログラムの実践ができるよう研修を実施する。

本年度の事業計画内容

本法人の事業のうち、2022年度の方針に従って本年度は以下の事業を行う。

事業 I リカバリーカレッジ事業

方針1 リカバリーカレッジの充実

- 1 運営ミーティング 2回/月
リカバリーカレッジふくおかの運営管理について検討する。
- 2 リカバリーカレッジ開講準備
開講にむけてHP、パンフレット、カリキュラム、書類などの作成を行う。
- 3 リカバリーカレッジ開講 5月～7月/10月～12月 2期/年
リカバリーカレッジふくおかを開講する。本年は2期実施する。
- 4 講座終了時の評価アンケート実施 2回/年

リカバリーカレッジに対する意見を集約し今後に反映する。

- 5 講座開発に向けたスタッフミーティング 1, 2回/月
講座の内容検討、スキル向上、情報共有のために関係者でミーティングを行う。

方針2リカバリーカレッジの啓発

- ① カレッジラボ開催 3回/年
精神保健福祉関係者に対するリカバリーカレッジの認知度を高め、仲間を募集することを目的に行う。また当法人関係者に対するリカバリーカレッジの理解促進のためにリカバリーカレッジに関する勉強会を開催する。
 - ② カレッジ文化祭
全国のリカバリーカレッジの関係者が集い、交流会や質の向上に向けた意見交換を行う会を開催する。
 - ③ 広報
HP、パンフレット、動画等を作成し、SNS等による広報を行う。また精神保健福祉医療領域の関係機関へ訪問し、リカバリーカレッジふくおかの周知を図る。
 - ④ オープンカレッジ開催 2回/年
リカバリーカレッジふくおかの説明会を実施し、受講生の募集を図る。
- 6 スタッフ・ボランティア募集 随時
講座開講にあわせて、必要なスタッフやボランティアを募集する。
 - 7 寄付活動 随時

事業Ⅱメンタルヘルスにおける研修

方針3リカバリー志向プログラムの普及

- 1 IMR研修 3回/年
IMRの実践を目的に精神保健福祉領域の専門職向けの研修を開催する。
- 2 WRAP研修 1回/年
WRAPリフレッシャー研修を行う。
- 3 IPPO研修 1回/年
IPPOプログラムの実践を目的に精神保健福祉領域の関係者を対象に行う。